

序文

本報告書は、商店街の活性化や今後のまちづくりのために福生市の皆さまの取り組みの一助としていただく目的で作成したものです。調査を進めるにあたっては、社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩（以下、本会と記す）がこれを受託し、本会会員である多摩信用金庫、そして信金中央金庫が協力するという体制を構築して実施いたしました。多摩地域の大学が「知」を提供し、学生がフィールドワークや議論にも参加する。そして地域金融機関が今後のまちの成長・繁栄を継続的にサポートしていく。今回の体制は、そのような問題意識で編成いたしました。

私たちは、以下の2つの点を重視しました。まず1つ目が、基本的な調査を実施し、商業・商店街が抱える課題を「見える化」すること。2つ目が、調査結果を踏まえ、福生の商店街振興に「熱意をもって協働できる方を発掘する」ことです。

特に2つ目の「熱意を持って協働できる方を発掘する」という点では、市内の商業者の皆さまにヒアリングを行う過程で、私たちは様々な方の「想い」を知ることになりました。併せてグループインタビューや来街者アンケート、「ふっさっ子の広場」や市民活動の状況等のヒアリングを通じて、立場に違いはありますが、地域のために活動する市民の方々を発掘することができました。

本調査は、商店街振興の基本調査であり、まさにここからがスタートです。なるべく早く次の一手を打ちたいという市の要望に応えるため、4月に開始し10月に報告（報告書は12月）という比較的短期間で調査を行い、取りまとめました。

本報告書が福生市の商店街、商業の振興、まちづくりの一助になれば幸いです。また、今回の調査からはじまる福生市の取り組みが、他の多摩地域での取り組みのお役に立てばうれしい限りです。

最後に、本調査実施にあたりまして、ご協力いただきました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩

本報告書について

本書は、本編として基本調査結果と分析結果及びそこから考えられる取り組みの方向性を、参考資料として方向性に沿った具体的な取り組み内容案を掲載している。

具体的な取り組み内容案にはそれぞれの事項で参考となる「他地域における取り組み事例」を掲載した。実際の取り組みを開始する際の参考としていただければ幸いである。